

## ■政策分野の検討シート

配分	政策分野		基本施策
(記入例) 1.00	1	自治・協働	住民が主役の協働のまちづくりを進める
3.00	2	教育・文化・子育て	飯南から世界を舞台に活躍できる人材を育てる
4.00	3	産業	誇れる産業を創出し、飯南町のブランド力を高める
2.00	4	保健・医療・介護・福祉	地域の力ですべての住民の健康と長寿をめざす
	5	生活環境	安心して生活できる快適な環境をめざす
	6	自然環境	豊かな自然を守り生かす

## 今後注力が必要な政策と今後 10 年間で重要な地域課題解決のための取組

第 3 次総合振興計画策定にあたり、飯南町の地域課題を解決するため今後 10 年間で特に重点的に取り組む必要がある政策及び取組について、庁内各課で以下の検討をし、課としての意見を整理しました。

## (1) 政策分野の検討（今後注力が必要な政策）

- ・ 現行計画の政策分野をもとに、今後 10 年間に於ける経営資源の再配分について検討する。
- ・ 右記の検討シートにある 6 つの政策分野に対して合計 10 点の持ち点を配分することにより、重み付けをする。
- ・ 担当分野に限定せず、町政全体を横断的に見て検討する。


## (2) 今後 10 年間で重要な地域課題解決のための取組み


- ・ 総合振興計画策定に際し、整理した各種調査結果をふまえ、各政策分野において「今後 10 年間で重要な地域課題解決のための取組み」について検討する。
- ・ 既存の取り組みの継続意向等は把握をしているため、本調査では「課題を解決するために必要な取り組み」という観点で検討する。

## 1. 政策分野の検討（今後注力が必要な政策）の検討結果

- 最も重要度が高かったのは「教育・文化・子育て」で22.4ポイント。次いで「産業」が21.5ポイントであった。「教育・文化・子育て」では9課中4課が、「産業」では3課が最も重要と回答した。
- 「教育・文化・子育て」については、多くの課が重要と回答している。「将来を担う子どもを育成する」ことが、まちづくりのあらゆる分野を支えるために不可欠であり、そのための教育や人材育成が重要な課題であるとの意見であった。
- 「産業」は、各課の重要度にばらつきがあり、教育・保健・福祉・医療を担う課では重要度が低い回答であった。重要と回答した課の意見としては、将来を担う若者世代の生活基盤として、産業の活性化、仕事の確保が重要。時間的・経済的余力があると他の分野に目が向かう。産業が盛り上がれば他の分野は必然的に活性化する。農林業を中心とした産業振興に注力し農業所得の向上を図るべき、という意見であった。
- 「自治・協働」「自然環境」については、いずれも課題はあるが他に注力すべき政策があるため、重要度が低くなったと思われる。「自治・協働」はある程度確立されているという意見が、「自然環境」については、自然豊かな飯南町においては現状の政策を継続すれば十分との意見があった。

## ■政策分野の検討結果 総括表

 :各課で最も重要と回答した政策

 :各課で2番目に重要と回答した政策

政策分野	順位	合計	まちづくり推進課	総務課・基幹支所	産業振興課	住民課	建設課	教育委員会	保健福祉課	福祉事務所	飯南病院
1 自治・協働 住民が主役の協働のまちづくりを進める	5位	11.4	1.25	1.00	1.00	2.00	1.00	1.88	1.00	1.25	1.00
2 教育・文化・子育て 飯南から世界を舞台に活躍できる人材を育てる	1位	22.4	2.50	3.00	1.00	3.00	2.00	2.38	2.00	3.50	3.00
3 産業 誇れる産業を創出し、飯南町のブランド力を高める	2位	21.5	2.75	4.00	6.00	2.00	2.00	1.75	1.00	1.00	1.00
4 保健・医療・介護・福祉 地域の力ですべての住民の健康と長寿をめざす	3位	17.0	1.40	1.00	-	2.00	2.00	1.63	4.00	2.00	3.00
5 生活環境 安心して生活できる快適な環境をめざす	4位	16.0	1.10	2.00	2.00	1.00	3.00	1.25	2.00	1.75	2.00
6 自然環境 豊かな自然を守り生かす	6位	3.6	1.00	-	-	-	-	1.13	-	0.50	1.00

■政策分野の検討結果 詳細表

政策分野		合計	配分	配分理由	配分	配分理由	配分	配分理由			
1	自治・協働	住民が主役の協働のまちづくりを進める	11.4 5位	まちづくり推進課	1.00	総務課・基幹支所	1.00	産業振興課			
				1.25		・自治組織がこれまで担ってきた活動は困難になる、 <b>健康、人材、環境に注力</b> が必要。 ・町内外で町を支援できる人材の育成が必要。 ・行政主導からの脱却がまだ。 ・住民の主体性、職員の資質向上の取組は必要。		まちづくりは住民が行うものなので、「施策」としてどう打ち出すかは慎重に決めるべき。			
				住民課		建設課		教育委員会			
				2.00		・ <b>地域でリーダーとなる人の育成</b> は、自然とその地域で人材が育っていくことが望ましい。		1.00	・自治・協働はある程度確立されている。	1.88	・住民が自らの町について考える雰囲気を作り出すことは重要だと考える。
				保健福祉課		福祉事務所		飯南病院			
1.00		1.25	・メンバーで固定されている。座談会のあり方など、見直ししながら進めていく必要があると考える。	1.00							
2	教育・文化・子育て	飯南から世界を舞台に活躍できる人材を育てる	22.4 1位	まちづくり推進課	3.00	総務課・基幹支所	1.00	産業振興課			
				2.50		・1、2とも <b>人材育成が最重要課題</b> 。 ・教育を通じて幼少期から意識させることが必要。 ・将来の人材育成、こども達の自己実現ができる環境づくりは、長期的に力を入れて取り組む。		・将来を担っていく子供を増やして行くためには、既に取り組んでいる支援を手厚くするのか、新たな支援を行うのか検討が必要では。			
				住民課		建設課		教育委員会			
				3.00		・子どもたちを育てる上で、教育は大切。 ・ <b>「教育・文化・子育て」この分野が弱体化すると、若者の減少が加速し、自治や産業、保健などあらゆる領域へ悪影響を与える</b> と考えるため。		2.00		2.38	・ <b>これからの未来を担う人材育成</b> の必要性と、地域住民の町に対する熱意が大切だと思う。 ・少子高齢化への対応。まちづくりを推進するためには「ひとづくり」が重要であると思う。
				保健福祉課		福祉事務所		飯南病院			
2.00		3.50	・ <b>現在の飯南町を支える人材育成について、早急に計画を立てる必要があると考える</b> 。 ・想像力のある人材を育てない限り、他の政策をいかに立てても発展は見込めないと思う。 ・ <b>教育分野への投資（公営塾は良いと思います）もしっかり進めていく必要はある</b> 。	3.00							

保・小・中・高の18年間で育てたい人物像の確立が必要  
(飯南町における未来を担う人材とはどのような人物か)

学習支援館の認知度向上  
学習支援館スタッフの教育現場での活用  
(教員の負担軽減)

政策分野				合計	配分	配分理由	配分	配分理由	配分	配分理由		
3	産業	誇れる産業を創出し、飯南町のブランド力を高める	3-1 飯南ブランドの構築 3-2 農林業の振興 3-3 観光の振興 3-4 商工業等の振興	21.5 2位	まちづくり推進課		4.00	総務課・基幹支所		6.00	産業振興課	
					2.75	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林業を中心とした産業振興（スマート農業、ブランド戦略）に注力し、<b>農業所得の向上と若者の仕事を確保</b>する。</li> <li><b>ビジネスモデル</b>として成り立っていない。</li> <li>アンケート結果から「若い世代の就労支援」の必要性が読み取れる。6分野の中でも、充足度の低い「<b>商工業等の振興</b>」が特に必要だと思う。①<b>若い人の雇用確保→子育て支援 etc の順番</b>だと思う。</li> <li>今あるものや飯南町の特色を生かした産業を創っていく必要がある。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>本町で生きていく力がなければ、子育ても難しい。時間的・経済的な余力があると自治・協働へと目が向かうと思われるため、<b>他の自治体と比べ高い水準の賃金で働ける場所の確保</b>が必要。</li> <li>アンケート結果を見ると、医療・福祉・教育分野には一定の効果があったものと思われるが、商工業・農林業は充足度も低い。<b>今後を担うのは若者世代であり、その生活基盤となる産業や生活環境に注力</b>するのが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組の多くは一定の成果が出ているので、現状維持で良い</li> <li><b>今後 10 年は産業の活性化に注力し取り組むことが必要</b></li> <li><b>農林業商工業が盛り上がり、そのほかの分野は必然的に活性化</b>すると考えられる。</li> </ul>			
					住民課			建設課			教育委員会	
					2.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業では近隣市町村に比べ、インパクトが弱いと感じるため。</li> <li>生活を成り立たせるためには資金が必要。</li> </ul>		2.00			1.75	<ul style="list-style-type: none"> <li>働ける場所の創出・確保は重要。</li> </ul>
					保健福祉課			福祉事務所			飯南病院	
1.00		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>食については安定的に現状維持できるよう広島・関西圏を狙って発信してはどうか。</li> </ul>	1.00								
4	保健・医療・介護・福祉	地域の力ですべての住民の健康と長寿をめざす	4-1 健康づくりの推進 4-2 地域医療の維持・充実 4-3 地域福祉の充実 4-4 高齢者などにやさしい環境づくり	17.0 3位	まちづくり推進課		1.00	総務課・基幹支所			産業振興課	
					1.40	<ul style="list-style-type: none"> <li>住み続ける町には医療が重要だと感じる。また、小児科の充実を求める声が多いと感じる。</li> </ul>						
					住民課			建設課			教育委員会	
					2.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保健・医療・介護・福祉」分野が人口減少の影響を大きく受けると考えるため、今から対策を考えておく必要がある。</li> </ul>		2.00			1.63	
保健福祉課		福祉事務所		飯南病院								
4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>高齢者が安心して暮らせるまちづくりが必要。</b></li> <li>健康寿命の増進を図ることが重要。</li> </ul>	2.00	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>限られた予算と現状の人口に伴う今後の見込数の中では福祉や生活環境の部分をいかに持続的に維持していくことが最重要。</b></li> </ul>	3.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・教育が定住につながるのではない。</li> </ul>							

政策分野				合計	配分	配分理由	配分	配分理由	配分	配分理由
5	生活環境	安心して生活できる快適な環境をめざす	5-1 定住の促進 5-2 生活基盤の整備 5-3 消防・防災対策の充実 5-4 防犯・交通安全の充実	16.1 4位		まちづくり推進課		総務課・基幹支所		産業振興課
					1.10	・ライフラインや公共交通、マーケット支援等生活に直結する部分を維持することに注力が必要。	2.00		2.00	
						住民課		建設課		教育委員会
					1.00	・定住の促進は重要だと考えるため。	3.00	・どの分野も今後注力が必要な政策と考えるが、特に生活環境が整っていないとその他の政策分野の充実に結び付かない。	1.25	・近年の災害を考えると、防災対策は何かある前の対策が必要と感じる。
					2.00	保健福祉課		福祉事務所		飯南病院
				1.75	・移住・定住施策についても大変重要だが、町も明確に狙いを持って、呼び込む必要がある。	2.00				
6	自然環境	豊かな自然を守り生かす	6-1 自然環境の保全 6-2 地球温暖化防止対策の推進	3.6 6位		まちづくり推進課		総務課・基幹支所		産業振興課
					1.00	・今後は海外資本からの水利権等の保護が必要ではないか。	-		-	
						住民課		建設課		教育委員会
					-		-	・自然豊かな本町においては現状の政策でも充分。	1.13	・脱炭素への取組等、より一層力を入れる必要があると思う。 ・海外資本や大企業による大規模な買収・進出により住めない地域にならないような対策を考える必要がある。
	保健福祉課		福祉事務所		飯南病院					
				-	・里山の維持は必要だが、地球温暖化防止の取り組み方は検討が必要。	1.00				